

北國宝生能特別企画

能で冬を楽しむ

Winter Noh

しもと結う
葛城山に降る雪は
間なく時なく
思ほゆるかな

能楽師による解説

わたなべしげと
渡邊茂人

【狂言】「井杭」
のむら ゆうじょう
能村祐丞

【能】「葛城」
さのげんき
佐野玄宜



令和元年 12月22日(日) 午後2時開演 (同1時半開場) 石川県立能楽堂

入場料(全席自由・税込み) 前売り(一般) 3,500円 学生(小・中・高校生) 1,500円 ※当日各500円増し
※未就学児童入場不可

【主催】石川県能楽文化協会、北國新聞社、富山新聞社

チケットの
お求めは

北國新聞読者
サービスセンター

お問い合わせ ☎ 920-8588 金沢市南町2番1号 北國新聞社事業局内「石川県能楽文化協会事務局」 TEL076(260)3581

TEL076(260)8000

【受け付け時間】平日午前10時~午後6時(土日・祝日休み)

パソコン、
スマートフォンから

北國新聞イベントガイド 検索
<http://hk-event.jp>

※パソコンやケータイからもチケットを購入できます。

ケータイから



令和元年度 北國宝生能特別企画

《番組》

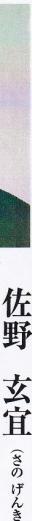
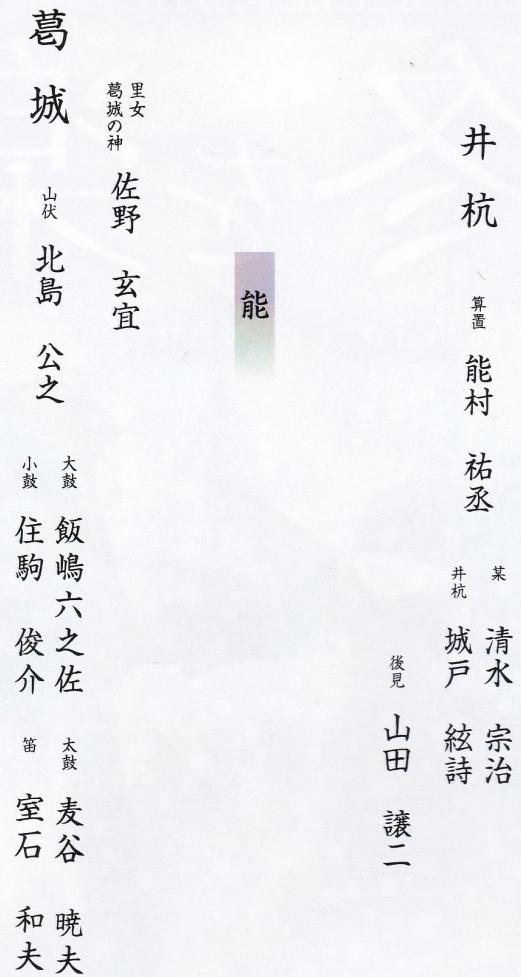
解説 渡邊 茂人

狂言

【能】葛城 (かづらき)

井杭といふ男がいた。かわいがつてくれる某(なにがし)にいつも頭を叩かれるのが嫌で、清水の観音に祈ると、自分の姿を消すことができる不思議な頭巾を授かる。某の前で面白がつて姿を消していると、驚いた某は通りがかりの算置き(算木を使う占い師)に井杭の行方を尋ねる。算置きはなかなかの腕前で井杭の居場所を言い当てるので、あわててその度に移動して逃げるが、やがて一人にいたずらを始める…。

透明人間になれる頭巾を手に入れ、無邪気に振る舞う井杭のかわいらしさが見どころ。



佐野 玄宜
(さのげんき)

昭和56年生まれ。シテ方宝生流佐野由於の長男。19世宗家宝生英照、20代宗家宝生和英に師事。昭和61年「鞍馬天狗」花見で初舞台。平成11年、祖父・正治十三回忌追善能にて初シテ「経政」。

これまでに「石橋」「道成寺」「乱和合」を披露。同門会「葛玄会」を主宰。早稲田大学大学院文学研究科修了。早稲田大学・学習院大学・桐山女子学園大学非常勤講師。